

令和元年8月27日



横浜市立富岡小学校

# 学校だより 9月号



夏休みが終わって

～子どもたちの充実した生活に向けて～

副校長 青木 智

「まだ夏は終わらせない」とばかりに鳴くセミたちの間から、「晩夏の使者」ツクツク法師の声も聞こえてくる頃となりました。長い夏休みも終わり、富岡小学校の校舎に子どもたちの声が元気に響いています。

夏休み期間中の7月30日（火）に金沢区水泳大会が開催され、4～6年生の児童30名が参加しました。子どもたちはもてる力を出し切り、自己ベストを更新しようと精一杯泳いでいました。泳ぎ終わった後には、どの子にも「力を出し切った。」「頑張った。」という達成感が見られました。この大会を経て、8月23日（金）には横浜国際プールにおいて、横浜市立小学校の代表児童が集う市水泳大会が行われました。本校からも5名の児童が代表として参加し、自分への挑戦とチームへの思いを胸に、熱い1日を過ごしました。

夏の暑さがようやくおさまり始める8月下旬から9月初めは、二十四節気「処暑」の中で、夏の気が落ち着き、万物があらたまる時期ともされています。季節の変化の始まりとともに、気持ちも新たにという意味だと私は解釈してみました。そして、その解釈から、今日から始まる富岡小学校の「RE：スタート」を次のように考えてみました。

## RE：スタート

単に学校が再開され、もとの生活に戻るというだけの意味ではない。季節が寒さへと対極の変化を始め、空気を入れ替わるこの時期を利用して、これまでの自分が立てためあてや目標などを点検・反省、そして必要に応じて修正し、ゴールに向かっての気持ちを入れ直し、あらためて走り出すこと。

季節が過ごしやすくなる9月以降も、学校・学年そして学級やペアグループでの行事や活動が予定されています。よりよい自分を目指して、仲間と力を合わせ、新しい気持ちをもって残暑を蹴散らし、新しい空気に包まれ、新しい風に乗って、子どもたち、そして教職員も、スタートダッシュをしっかりと切り、全力で走っていきたいと思います。

## 学校閉庁日のご協力、ありがとうございました

本年度、本校では、8月5日（月）から16日（金）までを学校閉庁日とさせていただきました。この期間は、学校との連絡がつきにくい状態となりました。保護者の皆様、地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。